

2014年度第3回理事会議事録

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 2014年11月28日（金） 11:50～12:30 |
| 場 所 | 本部棟 大会議室 |
| 出席者 | 理事長、副理事長（学長）、沼田理事、佐藤(正)理事、佐藤(三)理事、森内理事 欠席：九戸監事、若山監事 |

【会議概要】

| | |
|-----|--|
| 定足数 | ○定款第17条第3項により成立 |
| 審議① | <p>平成26年度補正予算について（議案第9号）</p> <p>○事務局から、理事長決裁により処理した平成26年度補正予算4件（第1号から第4号）の概要について、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、追認を可とするものとし、原案の通り承認された。</p> |
| 審議② | <p>平成27年度当初予算編成方針について（議案第10号）</p> <p>○事務局から、平成27年度当初予算編成方針について、資料に基づき説明があった。</p> <p>○平成27年度当初予算編成方針については、設置団体である青森市の財政環境を鑑み、引き続き支出の徹底した見直しを行い、不要不急のものは計上せず、事業の選択と集中を行うことを基本として、予算編成を行う旨の説明があり、審議の結果、原案通り承認された。</p> |
| 審議③ | <p>平成27年度年度計画の策定スケジュールについて（議案第11号）</p> <p>○事務局から、平成27年度年度計画の策定スケジュールについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案通り承認された。</p> |
| 審議④ | <p>教員職員の採用について（議案第12号）</p> <p>○学長から、教育研究審議会の意見を徴し、人事委員会の議に基づいて、平成27年4月1日付で採用予定となった教員4名について、資料に基づき説明があった。審議の中で、以下の質疑が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集科目の応募者は複数名であったのか。 ・採用となった場合は、市内に住むのか。 <p>○審議の結果、原案の通り承認された。</p> |
| 報告① | <p>平成26年度第1及び第2四半期資金管理実績について</p> <p>○事務局から、平成26年度第1及び第2四半期の資金管理実績について、資料に</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>基づき報告があった。</p> <p>○第1及び第2四半期を通じて、資金繰りは健全に推移している旨の説明があった。</p> |
| 報告② | <p>平成26年度青森公立大学の地域貢献事業について</p> <p>○事務局から、平成26年度青森公立大学の地域貢献事業について、資料に基づき報告があった。</p> <p>○平成26年度に実施した地域貢献事業については、4事業（物産展、学生ファッションショー、ハープリサイタル、講演会）を実施し、物産展以外の3事業については、募金活動を行い、元気都市あおもり応援寄附制度を利用し、青森市へ全額寄附をした旨の報告があった。</p> |
| 報告③ | <p>第1回・第2回オープンキャンパスの実施状況について（入学検定料減免申請状況の結果について）</p> <p>○事務局から、第1回・第2回オープンキャンパスの実施状況及び今年度より実施された入学検定料減免の申請状況について、資料に基づき報告があった。</p> <p>○参加者に対するアンケート結果から、オープンキャンパス参加の動機として入学検定料減免制度の効果があったとの説明があった。</p> |
| 報告④ | <p>国内外との交流推進について（ニュージーランド・リカト大学、公立はこだて未来大学）</p> <p>○事務局から、国内外との交流推進について、資料に基づき報告があり、今年度はニュージーランド短期語学研修、及び公立はこだて未来大学と締結した学術交流協定の概要について説明があった。</p> |
| 報告⑤ | <p>公立大学法人青森公立大学職員給与規程等の一部改正について</p> <p>○事務局から、公立大学法人青森公立大学職員給与規程等の一部改正について、資料に基づき報告があり、一部改正の趣旨の説明があった。</p> <p>○本件については、設置団体の対応に準ずるため、12月の持回り審議を予定している旨の説明があった。</p> |
| 報告⑥ | <p>公立大学法人青森公立大学第2期中期計画について</p> <p>○事務局から、公立大学法人青森公立大学第2期中期計画について、資料に基づき概要及び今後のスケジュールの報告があった。</p> |
| 報告⑦ | <p>第一種非常勤講師の継続雇用条件及び評価基準等について</p> <p>○事務局長から、第一種非常勤講師の継続雇用条件及び評価基準等について、資料に基づき報告があった。</p> <p>○理事長から、第一種非常勤講師の継続雇用条件及び評価基準等を明確にした</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>その他</p> | <p>経緯についての説明があった。</p> <p>○理事長から、人事制度について、多様で専門的な職務内容を考慮し、現在までも整備検討を行ってきたが、教員職員の教育及び研究活動のモチベーションの向上はかるべく、定年制への移行も含め検討中であるとの説明があった。</p> <p>○事務職員については、平成25年4月1日より施行された改正労働契約法の変更に対応するため平成24年度第5回理事会において、関係規程の改正を行い、その任期及び勤務条件においては明確なルールのもとに現在運用されている。一方で、専任教員、学芸員、研究員の雇用制度、長期継続雇用の嘱託職員の昇給制度等の導入については、十分な検証作業が必要であるとの判断から、継続検討としている。今後しかるべき時期に理事会にて審議する予定であるとの説明があった。</p> |
|------------|---|